

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 蚕糸振興対策事業委託料

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111 (内4120)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 345 千円 (前年度予算額：345 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	345	0	0	0	0	0	0	0	345
要求額	345	0	0	0	0	0	0	0	345
決定額	345	0	0	0	0	0	0	0	345

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・平成23年度から新たな蚕糸対策が導入され、繭代補てん支援から、蚕糸業(養蚕農家・製糸業者)と絹業(絹織物業者・流通業者等)の提携による純国産絹製品づくりに対する支援(蚕糸絹業提携支援緊急対策事業)が始まっている。本県においても、平成23年度から同事業による取り組みが始まった。

・安価な生糸・絹製品の輸入増加による繭価格の低迷や養蚕農家の高齢化により、繭生産量は減少しており、蚕糸振興を図るために、シルククラフト制作活動と一体的に推進する必要がある。

(2) 事業内容

新たな蚕糸対策に呼応して蚕糸業と絹業との提携関係の早期構築に向け支援を行うとともに、小学生に絹文化を知ってもらうための養蚕文化伝承活動及びG I F Uシルククラフトのブランド化支援を行う。

- ・養蚕農家現地指導 ・蚕種・繭流通対策の実施
- ・蚕業動向調査の実施 ・養蚕文化伝承
- ・G I F UシルククラフトPR活動

(3) 県負担・補助率の考え方

県が行う蚕業振興にかかる各種対策について、県に代わり産業振興事業を行う県域団体(岐阜県蚕糸協会)へ委託を行いその経費を県が負担することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	345	・養蚕農家現地指導、蚕種・繭流通対策の実施、動向調査の実施、養蚕文化伝承・G I F UシルククラフトPR活動等の委託
合計	345	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県養蚕文化継承地域整備基本方針に位置づけられている。

(2) 事業主体及びその妥当性

県下の養蚕振興を担う唯一の組織であることから、本事業を委託するのに最も適した団体であるが、市町村・JA合併が進み、各市町村やJA単位からの支援が得られ難くなってきており、振興事業を行う当協会の負担は大きくなってきている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の養蚕文化伝承活動及びG I F Uシルククラフトのブランド化を支援し、養蚕農家の確保を図るとともに、養蚕農家の経営安定を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R 7)	達成率
①養蚕生産者数	10名	10名	11名	12名	13名	77%
②繭生産量	0.9t	0.7t	1.5t	1.8t	2.0t	35%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就農した4名について、指導員を派遣し、蚕の基本的な飼い方、桑の定植方法などを指導し、生産量拡大に寄与した。 ・繭製品販売会を開催し、養蚕についてのPRを実施した。
	指標① 目標： <u>13名</u> 実績： <u>10名</u> 達成率： <u>77</u> %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就農した4名について、指導員を派遣し、蚕の基本的な飼い方、桑の定植方法などを指導し、生産量拡大に寄与した。 ・繭製品販売会を開催し、養蚕についてのPRを実施した。
	指標① 目標： <u>13名</u> 実績： <u>10名</u> 達成率： <u>77</u> %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： <u> </u> 実績： <u> </u> 達成率： <u> </u> %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	養蚕業・蚕糸業を営む生産者は大きく減少しており、本県の養蚕業・蚕糸業の維持振興を図るためには事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	養蚕業・蚕糸業の維持振興が図られている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	県下唯一である蚕糸関係団体である岐阜県蚕糸協会により、G I F Uシルクのブランド化に向けた積極的なPR活動等が行われている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県の養蚕業・蚕糸業は年々衰退しており、その維持振興を図るための更なる取り組みが必要である。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県蚕糸協会と委託事業内容を十分に協議し、養蚕業・蚕糸業の振興を図る。
